

# 多血小板血漿を用いた難治性皮膚潰瘍の治療

## 【目標症例数】

23例

## 【対象患者】

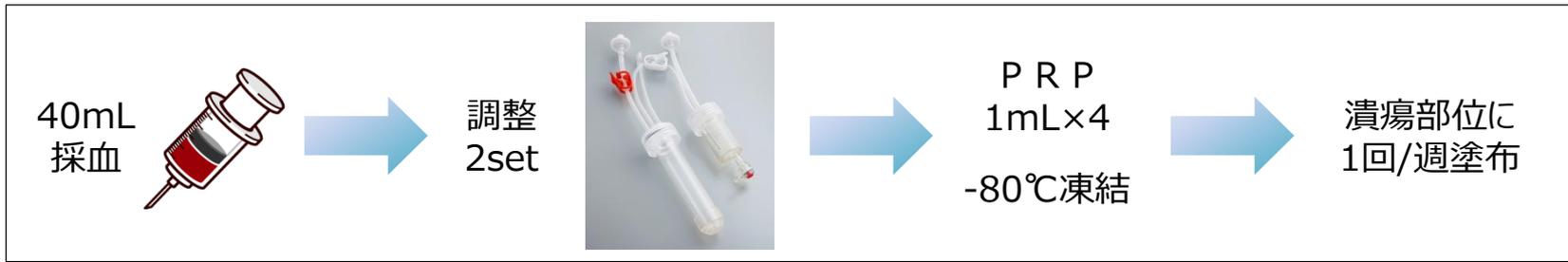
28日以上既存の治療法を行い、上皮化に至らない患者

## 【実施施設】

聖マリアンナ医科大学病院、金沢医科大学病院、  
滋賀医科大学医学部附属病院、  
国立国際医療研究センター病院、  
福井大学医学部附属病院、富山大学附属病院

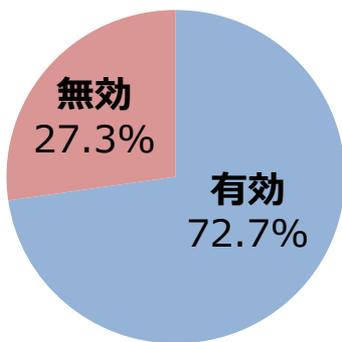
## 【実施方法】

40mL抗凝固処理された血液より、4mLのPRPを調整する。調整されたPRPは-80℃で凍結し、潰瘍部位に1回/週塗布する。4回塗布を1クールとし、最大2クール実施する。



## 【結果】

奏効率：72.7%（解析対象：22例） ※面積縮小率が50%を超えたものを奏効とした



### 実施例

